



安全データシート

Page 1 of 10

LOCTITE イージーミックス主剤

SDS No. : 250221

V001.4

ヘンケルジャパン株式会社

改訂: 01.04.2025

発行日: 30.07.2025

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 2897486
製品名 : LOCTITE イージーミックス主剤
推奨される用途 : 2液エポキシ接着剤 Part A

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1800

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分
皮膚刺激	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
皮膚感作性	区分 1
水生環境有害性 短期 (急性)	区分 2
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 2

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告

ヘンケルジャパン株式会社

危険有害性情報:	H315 皮膚刺激。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H319 強い眼刺激。 H411 長期継続的影響により水生生物に毒性。
安全対策	P261 ミスト/蒸気の吸入を避ける。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
応急措置:	P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 P391 漏出物を回収すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

危険有害成分及び濃度

成分 CAS-No.	wt%	GHS分類
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 25068-38-6	>= 90 - <= 100 %	皮膚刺激 2 H315 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 2 H319 皮膚感作性 1 H317 水生環境有害性 短期(急性) 2 H401 水生環境有害性 長期(慢性) 2 H411

労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

4. 応急処置

皮膚にかかった場合:	流水と石けんで洗うこと。クリームを塗ること。汚染された衣類は交換すること。
眼に入った場合:	清浄な水または、洗眼液で最低15分間洗浄すること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて洗浄すること。医師の診断/手当てを受けること。移動中も眼を洗い続けること。
飲み込んだ場合:	口やのどをすすぐ。コップに1~2杯の水を飲む。医師の診察を受けること。
吸入した場合:	空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

消火方法：	汚染された消火水は別に集めること。下水管に流してはいけない。
適切な消火剤：	二酸化炭素、泡、粉末、水噴射、微細な水噴霧
使ってはならない消火剤：	高圧水噴射
火災時の特有の危険有害性：	火災が発生した場合、一酸化炭素 (CO)、二酸化炭素 (CO ₂) と酸化窒素 (NO _x) が放出される。
消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置：	保護具を着用すること。 自給式呼吸器および出勤服の様な全身保護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	十分な換気を保つこと。 皮膚や眼に触れないようにすること。
環境に対する注意事項	下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	物理的に除去する。 13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 安全取扱い注意事項	作業場が適切に換気されていることを確かめる。 皮膚および眼への接触を避けること。 適切な保護衣、保護めがね、保護手袋を着用すること。 使用中は飲食したり、喫煙しないこと。
保管： 安全な保管条件：	他の容器に移し替えないこと。 容器をしっかり密封しておくこと。 涼しく、乾燥した場所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策:** しっかりした換気／排気を確保すること。
- 保護具:**
- 呼吸用保護具:** 十分に換気ができない場合は適切な呼吸マスク
 - 手の保護具:** 手の保護にはゴムもしくはプラスチック製の手袋を使用すること。
 - 眼の保護具:** ぴったり閉じることができるゴーグル。
 - 皮膚及び身体の保護具:** 適切な保護服

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態:	液体	色:	透明, 淡黄色
pH:	該当なし, 混合物は (水に) 不溶	臭い:	マイルド
沸点:	> 260 ° C (> 500 ° F)	融点:	該当なし, 製品は液体
蒸気密度:	データ無し/対象外	密度:	1.10 - 1.18 g/cm ³
引火点:	> 150 ° C (> 302 ° F)	蒸気圧:	データ無し/対象外
爆発範囲 (下限):	データ無し/対象外	爆発範囲 (上限):	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度:	6,000 - 8,000 cp > 20.5 mm ² /s
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分係数	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
粒子特性	データ無し/対象外		

10. 安定性及び反応性

- 安定性:**
- 反応性:** 酸化剤と反応する。
酸
- 化学的安定性:** 推奨保存状態下では安定している。
避けるべき条件 意図された目的に使用される場合は、無し
- 混触危険物質:** 適切に使用した場合特になし。
- 危険有害な分解生成物:** 不明

1 1. 有害性情報

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 420 (Acute Oral Toxicity)

急性毒性（経皮）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)

急性毒性（吸入）:

データなし

皮膚腐食性／刺激性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	刺激性			Weight of evidence

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	刺激性			Weight of evidence

呼吸器又は皮膚感作性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)

ヘンケルジャパン株式会社

生殖細胞変異原性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目/管理経路	代謝活性化/ばく露時間	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 472 (Genetic Toxicology: Escherichia coli, Reverse Mutation Assay)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	陰性	oral: gavage		マウス	指定されていません

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	not carcinogenic	皮膚	2 y daily	マウス	male	OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	not carcinogenic	oral: gavage	2 y daily	ラット	male/female	OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	NOAEL P >= 50 mg/kg NOAEL F1 >= 750 mg/kg NOAEL F2 >= 750 mg/kg	2世代試験	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露):

データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露):

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間/処理頻度	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	NOAEL 50 mg/kg	oral: gavage	14 w daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)

誤えん有害性：

データなし

12. 環境影響情報

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	LC50	1.75 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	EC50	1.7 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	NOEC	0.3 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性（藻類）：

ヘンケルジャパン株式会社

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	EC50	> 11 mg/l	72 h	Scenedesmus capricornutum	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	NOEC	4.2 mg/l	72 h	Scenedesmus capricornutum	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	IC50	> 100 mg/l	3 h	activated sludge, industrial	other guideline:

12.2. 残留性と分解性

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	容易に生分解されていません。	aerobic	5 %	28 d	OECD Guideline 301 F (Ready Biodegradability: Manometric Respirometry Test)

12.3. 生態蓄積性

データなし

12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	3.242	25 ° C	EU Method A.8 (Partition Coefficient)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 規制に基づき廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法: 使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

Class: 9
Packing group: III
UN no. : 3082
Label: 9
EmS: F-A ,S-F
Seawater pollutant: P
Proper shipping name: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.
(Bisphenol-A Epichlorhydrin resin)

Air transport IATA:

Class: 9
Packing group: III
Packing instructions (passenger) 964
Packing instructions (cargo) 964
UN no. : 3082
Label: 9
Proper shipping name: Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s.
(Bisphenol-A Epichlorhydrin resin)

Further information for transport:

このセクションの輸送分類は、一般にパックされた及びバルク商品と同等品に適用される。個々のまたは内容器の正味容量が5Lを越えない液状製品または正味重量が5kgを越えない固体製品は、例外 SP 375 (ADR), A197 (IATA), 2.10.2.7 (IMDG)が適用されるであろう。それはパックされた製品ののための輸送分類から外れることになりえる。

国内輸送規制:

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法:

名称等を通知すべき有害物	ビスフェノール A 型エポキシ樹脂
名称等を表示すべき有害物	ビスフェノール A 型エポキシ樹脂
特定化学物質第 1 類物質	該当なし
特定化学物質第 2 類物質	該当なし
特定化学物質第 3 類物質	該当なし
特定化学物質特別管理物質	該当なし
第 1 種有機溶剤等	該当なし
第 2 種有機溶剤等	該当なし
第 3 種有機溶剤等	該当なし
変異原性が認められた既存化学物質	ビスフェノール A 型エポキシ樹脂
変異原性が認められた届出物質	該当なし
がん原性物質 (ISHL 第 57-1、57-2 および 57-3条、施行規則条項 第 577-2-3条)	該当なし
皮膚等障害化学物質等	ビスフェノール A 型エポキシ樹脂

ヘンケルジャパン株式会社

消防法 第4類引火性液体, 第4類 第3石油類(非水溶性)

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : (含 該当しない

有率表示は代表値)

(含有率単位が%0 の場合 %0=1/10%)

16. その他の情報

発行日: 30. 07. 2025

注意: この安全性データシートは日本産業規格 (JIS: Z 7253) に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

お客様各位、

ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。

SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。

個人用ではない電子メールアドレス (例 : SDS @ your_company.com) を使用することをお勧めします。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる二次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。